



出身国情報重要文書

ギニア

2009年2月5日

英国国境庁
出身国情報サービス

目次

ページ

1. 序文	4
2. ギニアの基礎情報	5
地理	5
地図	6
最近の情勢	7
最近のニュース及び政治動向	7
経済	8
人権	9
汚職	10
不正取引	11
麻薬取引	11
女性器切除 (FGM)	12
実施規模	12
法的立場	12
保護	12
集会、結社の自由	13
宗教の自由	13
言論と表現の自由	14
3. 主要引用文書の索引	15
主な実情・地理	15
地図	16
歴史	16
政治・近年の動向	16
人権 - 一般	19
人権 - 特定問題	20
逮捕・拘留- 法的権利	20
児童	20
市民権・国籍	21
汚職	21
犯罪	21
死刑	22
身体障害者	22
雇用権	22
民族	22
出入国手続	23
強制退去	23
国外難民	23
移転の自由	23
信仰の自由	23
発言・報道の自由	23
人権機関、団体、活動家	24

HIV/エイズ	24
国内避難民 (IDP)	24
司法制度	25
レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー	25
医療問題	25
兵役	26
政治的所属	26
刑務所の状況	26
治安部隊	26
テロリズム	27
不正取引	27
女性	27
4. 参考文献リスト	29

序文

- i このギニア出身国情報重要文書（COI 重要文書）は英国国境庁(UKBA)の出身国情報サービス（COI Service）が、庇護・人権の認定手続きに関わる職員を対象に作成したものである。本文書では、英国において要求が多かった庇護・人権の事項について、一般的な基礎情報を提供する。本 COI 重要文書は、2009 年 1 月 23 日までの情報をまとめている。発行日は 2009 年 2 月 5 日。
- ii 本 COI 重要文書は、様々な国際的外部情報源が発表した主な報告書、論文、記事の索引リストである。英国国境庁の見解や方針は一切含まれていない。
- iii 英国国境庁のユーザー向けには、本 COI 重要文書の各引用元に、索引の引用番号及び引用リストのリンクから電子上で直接アクセス出来るようにした。外部利用者向けには、関連ウェブサイトのリンク及びリンクがアクセスされた日付を有効活用出来るようにした。
- iv 上述のとおり、本文書は主に人権問題に関する情報をまとめたものである。前書きとして、ギニアに関する基礎情報の概要も記載した。同基礎情報は、リストにある文書の情報を要約したものではないことを注記する。
- v 本 COI 重要文書及びリストの文書は、公開文書である。
- vi 本 COI 重要文書に関するコメント及びその他の情報源についての提案は、以下の出身国情報サービス（COI Service）までご連絡頂きたい。

Country of Origin Information Service
UK Border Agency
Apollo House
36 Wellesley Road
Croydon CR9 3RR
United Kingdom

Email: cois@homeoffice.gsi.gov.uk

ウェブサイト: http://www.homeoffice.gov.uk/rds/country_reports.html

国情報の諮問機関

- xi 国情報の独立諮問機関 (APCI) は 2003 年に設置され、英国国境庁の出身国情報資料の内容について、内務大臣に提言することを目的としている。APCIは英国国境庁の多数の報告書を審査しており、ウェブサイトwww.apci.org.ukにて調査結果を発行している。2008 年以降、APCIの任務は英国国境庁のチーフ・インスペクターに移行された。

[目次へ戻る](#)

2. ギニアの基礎情報

正式国名称: ギニア共和国

面積: 24 万 5,857 平方キロメートル

人口: 980 万 6,509 人(2008 年 7 月推定)

首都: コナクリ

人及び言語: ギニアの主な民族グループは、フル 40%、マリンケ 30%、スースー 20%、その他少数民族グループ 10%。

公用言語はフランス語。その他、各民族言語。

宗教: イスラム教 85%、キリスト教 8%、伝統的宗教 7%

通貨: ギニア・フラン (GNF)

主要政党及び政治家: 主要政党は、

統一進歩党 (UPN) [マモドゥ・ボイエ・バリ];

民主主義と発展のための国民評議会(CNDD), (クーデター後の与党) [ムサ・ダディス・カマラ大尉];

ギニア人民党 (PPG) [シャルル・パスカル・トルノ];

ギニア人民会議 (RPG) [アルファ・コンデ];

ギニア民主軍連合 (UFDG) [セロウ・ダレイン・ディアロ];

共和軍連合 (UFR) [シダ・トゥーレ];

ギニア進歩連合 (UPG) [ジャン・マリー・ドレ、事務局長];

進歩改革連合 (UPR) [ウスマネ・バー]

元首 (クーデター後): ムサ・ダディス・カマラ大尉

首相: カビネ・コマラ

メンバーになっている国際機関、団体: 国際連合 (UN), アフリカ連合 (AU), イスラム諸国会議機構 (OIC), 西アフリカ諸国経済共同体 (ECOWAS), アフリカ開発銀行 (AFDB), マノ河同盟 (MRU). アメリカ中央情報局 (CIA) ワールドファクトブック, 2009 年 1 月 22 日) [1a]

[目次へ戻る](#)
[出典にリンク](#)

地理

外務英連邦省 (FCO)、カントリープロファイル: ギニア、2008 年 7 月 8 日抜粋:

“ギニアはアフリカの西海岸に位置している。ギニアビサウ、セネガル、マリ、コートジボワール、リベリア、シエラレオネとの国境線を有している。同国は、大まかに 4 つの地域に分けることができる: 細長い湾岸地域、北西の丘陵地域、ニジェール河が流れる中央サバンナ、南東の熱帯雨林である。” [4a]

[目次へ戻る](#)
[出典にリンク](#)

地圖



[目次へ戻る](#)
[出典にリンク](#)

最近の情勢

アメリカ中央情報局 (CIA) ワールドファクトブック、2009 年 1 月 22 日更新、抜粋：

“1958 年にギニアがフランスから独立して以降、同国で大統領に就任したのは 2 人のみである。ランサナ・コンテは 1984 年、初代大統領セク・トゥーレの死亡後、軍事クーデターにより政権を握った。ギニアでの初の民主的選挙は 1993 年、コンテ大佐（軍事政権の長）が民事政府の大統領として選ばれた時のことである。同氏は 1998 年に選出され、その後 2003 年に再選、全投票で不正が疑われた。ギニアは、近隣のシエラレオネとリベリアでの紛争による影響にも関わらず、内政の安定を保った。これらの国々は再建し、ギニア独自の政治的及び経済的危機の脆弱性は拡大した。経済情勢の減退と汚職や劣悪なガバナンスに対する不満から、2006 年には大規模なストライキが 2 件発生し、2007 年初めに決行された 3 度目の全国規模のストライキでは、ギニアの多くの都市で暴力的な抗議が起き、2 週間の戒厳令が敷かれた。組合と和解し騒動に終止符を打つため、コンテは 2007 年 3 月、新首相を任命した。” [1a]

目次へ戻る
出典にリンク

最近のニュース及び政治動向

英国放送協会 (BBC) は 2008 年 12 月 23 日、24 年間政権を握ったランサナ・コンテ大統領が死去したと報告した。同氏は前日の 2008 年 12 月 22 日に、長い闘病の後、74 歳で亡くなった。BBC によると、軍が権力を握り、政府を解散させて憲法を停止したと宣言している。[7e] BBC 及びガーディアンとの報道によると、同大統領は 1984 年のクーデターで政権を掌握して以降、西アフリカ諸国を強圧的に統治していたという。

“彼は、武器で権力に就きアフリカ大陸に及んでいる民主化の流れに抵抗した、いわゆる‘アフリカのビッグ・マン’と呼ばれる残り少ない人達の一人だった。

(BBC 2008 年 12 月 23 日) [7d] (ザ・ガーディアン, 2008 年 12 月 23 日) [50a]

“ BBC は翌日の 2008 年 12 月 24 日、クーデターを率いた軍下級将校のムサ・ダディス・カマラが、自身を‘国の大統領だ’と宣言したと報じた。 “ (BBC 2008 年 12 月 23 日) [7f]

BBC カントリー・プロフィール、2009 年 1 月 1 日更新より抜粋:

“ムサ・ダディス・カマラ将校は、2008 年 12 月に長年統治したランサナ・コンテ大統領死去後、無血クーデターで権力を奪取した軍人グループのリーダーとして浮上した。... 失脚した政府は当初クーデターに反対していたが、多くのギニア人-4 分の一世帯の間、悪政に不平を感じていた人達-は軍の動きを支持している様に見受けられ、ほとんどの前閣僚はその後カマラ大尉に投降した。暫定軍事政権は、民主主義と発展のための国民評議会(CNDD)の 32 人による新たな上部組織を結成して、政府とその他の団体を入れ替え、国から不正を一掃し、生活水準を改善させると公約した。” [7a]

“カマラ大尉はクーデターの翌日、自身を‘国の大統領’と宣言したが、権力に執着するつもりはなく、2年の移行期を経て2010年後半に選挙を実施すると述べている。さらに、“コマラ氏は2008年末、ランサナ・コンテ大統領の死去後に発生したクーデターの翌週に、ギニアの暫定軍事政権によって首相に任命された。”としている。 [7a]

IRIN ニュース 2009年1月12日報道：“西アフリカ諸国経済共同体(ECOWAS)は、アフリカ連合と並んで、ギニアにおける軍事政権への移行を非難しており、暫定軍事政権が憲法秩序を再建させるまで、ECOWASはギニアの参加資格を凍結している。

1月10日に開催された ECOWAS 特別会議では、各国指導者達が暫定軍事政権に対し、2009年の選挙が自由で公平で透明性のある選挙となるように、民間人と軍人のメンバーからなる暫定組織を設置するよう要求した。EU職員が就任直後のカビネ・コマラ首相と会談し、同様に選挙実施のため民間人が率いる組織を要求しており、その会談数日後に ECOWAS の動きが見られた。” [6i]

[目次へ戻る](#)
[出典にリンク](#)

経済

GDP: 109 億 6,000 万ドル (2007 年推定) (アメリカ中央情報局 (CIA) ワールドファクトブック, 2009 年 1 月 22 日) [1a]

1 人あたり GDP: 421 ドル (2004 年)

経済成長率: 1.5% (2007 年推定)

物価上昇率: 23% (2007 年推定)

主要産業: 鉱物 (ボーキサイト、鉄鉱)

主要貿易相手国: 輸出先: 韓国、EU、ロシア、米国、カメルーン 輸入元: EU、コートジボワール、中国

為替レート: 1 ポンド = 8800 ギニア・フラン (2008 年 3 月); (FCO カントリー・プロフィール: ギニア、2008 年 7 月更新) [4a] 11,768 ギニア・フラン = 1 ポンド・スターリング (2007 年 3 月 23 日)

主要貿易相手国: 輸出先: 韓国、EU、ロシア、ウクライナ、米国、カメルーン 輸入元: EU、コートジボワール、中国 (FCO カントリー・プロフィール: ギニア、2008 年 7 月更新) [4a]

米国国務省 (USSD レポート 2007 年) 人権に関する情報のカントリー・レポート 2008 年 3 月 11 日付抜粋:

ギニア “鉱物資源に恵まれており、世界埋蔵量の約半分に相当する 250 億メートルトン (MT) 以上のボーキサイトを所有している。さらに、ギニアが有する鉱物資源には、40 億トン以上の高品質の鉄鉱、膨大なダイヤモンド、金鉱床、未知数のウランウムなどもある。ギニアは、農業及び漁業分野の成長に相当な将来性がある。土壌、水、気候条件は、大規模かんがい農業と農産物の商機を備えている。投資及び商業活動の可能性はすべての分野に見られるが、ギニアのインフラ開発の遅れや蔓延した汚職は、引き続き大規模投資プロジェクトの妨げとなっている。” [2c]

アメリカ中央情報局 (CIA) ワールドファクトブック、2009 年 1 月 22 日更新の記録:

“ギニアは主要鉱物、水力発電、農業資源を保有しているにも関わらず、発展途上国に留まっている。同国は世界のボーキサイト埋蔵量の約半分を所有し、ボーキサイト生産においては世界第2位である。鉱業分野は輸出の70%以上を占める。同国が貧困から脱却するためには、国家予算、教育、法的枠組みにおいて長期的な改善が必要とされている。投資家の信頼は、蔓延した汚職、電力不足とその他のインフラ、熟練労働者の不足、ランサナ・コンテ大統領の健康不良による不確実な政治低下している。ギニアは、2003年にほぼ全ての援助を断ち切ったIMF及び世界銀行と再度協調する予定で、全額出資のプログラム再開に向けて、米財務省、世界銀行、IMFからのテクニカルアドバイザーと共に取り組んでいる。2006-07年度は、世界需要の増加と世界市場の商品価格の上昇を要因に、成長率がわずかに伸びたが、生活水準は下がった。ギニア・フランが急降下し、食料品や燃料など生活必需品の価格が、ほとんどのギニア人が手に届かないほど上昇した。経済状況への不満から、2006年の2月と6月に全国規模のストライキが発生した。” [1a]

[目次へ戻る](#)
[出典にリンク](#)

人権

米国国務省 (USSD) レポート 2007 年、2008 年 3 月 11 日付、
 ギニアの人権状況の要約より抜粋：

“年間を通して深刻な人権侵害が見られており、特にゼネストが実施された1月～2月にかけては治安部隊が市民を殺害・負傷させるなど事態が悪化した。治安部隊は拘留者から自白を引き出すため拷問や虐待を行ったほか、特に大規模なデモの期間には、市民を殺害し、むち打ち、虐待なども行った。刑務所の状況は非人間的で、生死に関わるほどである。殺害や虐待の加害者は刑事免責されており、依然問題視されている。恣意的な逮捕、裁判前拘留の長期化、隔離拘禁が見られた。司法裁判所は汚職と外的影響にさらされた。政府は市民のプライバシーの権利を侵害し、前年より規制の件数は減少したものの、引き続き言論の自由、メディアの自由、結社・集会の自由、移動の自由を規制した。メディアは全般に自由で公然と批判するものの、政府による侵害事例が見受けられた。女性に対する暴力や社会的差別、少女の売春、女性器割礼 (FGM) が問題となっている。人身売買、人種差別、労働組合指導者を標的とした政府、子どもを含む強制労働、児童労働が見られた。” [2a]

外務英連邦省 (FCO) ギニアのカントリー・プロフィール 2008 年 7 月 8 日更新は、
 以下の通り追記した。：

“ギニアの人権記録は、これまで同様劣悪である。セク・トゥーレ政権下では、数多くの人々が刑務所または見せしめ裁判の後に拷問を受けた。これらの責任については、いまだに正当な裁判を受けていない。コンテ大統領の下でも人権侵害は続いたが、状況はセク・トゥーレ時代より大幅に改善した。治安部隊による卑劣な汚職や、裁判なしの拘留が主な懸念となっている。多数の人権侵害に関する告発は、2007 年 1 月に発生した騒動での国家治安部隊の行為に関するものであり、国際的な人権団体からの告発も含まれている。事実の立証や判定の追跡について、ギニア政府は何も措置を取っていない。独立した活字媒体のメディアが成長しているものの、政権について批判的な文章を書いたジャーナリストが逮捕されることもしばしばある。2006 年 7 月まで、

放送メディア媒体は全て国営であった。民間ラジオ局 1 社が、放送を始めたところである。” [4a]

フリーダム・ハウスのフリーダム・イン・ザ・ワールド 2008 年、ギニア（2007 年の出来事）より抜粋：

“いくつかの法定では明らかに憲法違反である結社と集会の自由を規制しており、政府は‘国家の統一を脅かす集まり’を禁止することができる。しかし、人権グループ及びその他の非営利団体（NGO）は公然と活動した。

“司法制度は名目上独立しているものの、以前として汚職、縁故主義、人種差別、政府干渉の影響を受けており、予算と優秀な人材も不足している。恣意的な逮捕及び拘留が一般化されているほか、慢性化する虐待と拘留者への拷問も報告されている。刑務所の状況は劣悪で、時に生死に関わるほどとなっている。治安部隊は無罪な人に対する裁判外の処刑など、虐待に関与している。ヒューマン・ライツ・ウォッチの報告によると、2007 年初めの反政府デモの弾圧で、‘治安部隊は、死者を出さない方法で群衆を抑制する以前に、非武装のデモ参加者達に向かって頻繁に発砲したほか、デモ隊を非難させようと狙撃した。’ その結果、少なくとも 129 人が死亡、2,000 人近くが負傷した。” [21a]

ヒューマン・ライツ・ウォッチ(HRW) は 2008 年の出来事をまとめたワールドレポート 2009 年で、次のとおり報告した。：

“ギニアは主要麻薬取引のハブとして台頭し、人権への懸念が高まっているため、2007 年の全国各地での抗議が、2008 年末までにはガバナンスの改善と人権の尊重につながる事を望む。特有の汚職、厄介で暴力的な軍隊、麻薬取引の台頭とそれに対する政府関係者の関与が慢性的な問題になっており、法の支配や市民の生活水準を満たす政府の能力がさらに低下する恐れがある。

また、国家予算を利用した治安部隊メンバーによる暴力が常習化しており、拷問、暴行、処刑などが続いている。治安部隊が虐待に関与しても何も処罰を受けず、政府はそれについて何も対処していないため、ギニア国民は改善を期待していない。

2007 年 1 月から 2 月の治安部隊による殺害と虐待を調査するため国家調査委員会が設置されたが、政府の支援が不十分なため、未だ活動していない。しかし、新任の首相が設置を支援した人権監視団体は、独立して機能すれば期待できそうだ。” 5a]

[目次へ戻る](#)
[出典にリンク](#)

汚職

米国国際開発庁（USAID）は 2008 年 5 月 29 日、ギニアは世界の最貧国に分類されているものの、ボーキサイト、鉄鉱、金、ダイヤモンドなどの豊富な天然資源に恵まれている、と報告した。報告書では、汚職が国の豊富な資源と国民の貧困の間に見られる格差の要因のひとつであるとされている。

“同国は議会選挙を控えているため、政府の汚職は主な懸念事項となった。多くのギニア国民は、ギニア政府による汚職が続く限り、この国は発展できないと確信している。USAID が主催した反汚職セミナーでは、80 人以上の参加者がスピーカーのこの言葉に

拍手を送った。‘法律が遵守されておらず、社会秩序が尊重されていない政府は良い政府ではない。個人の自由と権利を保障しない政府は、良い政府とは言わない。’” [19b]

不正取引

米務省、2008 年人身売買レポート、2008 年 6 月 4 日付では、ギニアの不正取引について以下のとおり記している。：

“ギニアは、強制労働及び性的搾取を目的に売買された男性、女性、子どもの送り出し国であるほか、経由地でもあり、受け入れ国でもある。被害者の多くは子ども達で、国際取引よりも国内取引の方が多い。国内では、少女達が家内奴隷や性的搾取を目的に取引され、少年達は強制農業労働者や、強制物乞い、露店商人、靴磨き、金鉱やダイヤモンド鉱山の労働者などのために取引される。ギニア国内での農業労働力としてギニア人男性が取引されることもある。国際取引では、マリ、シエラレオーネ、ナイジェリア、ガーナ、リベリア、セネガル、ブルキナファソ、ギニアビサウの少女達がギニア向けに取引され、家内奴隷のほか性的搾取に使われることもある。ギニア人女性と少女達は、家内奴隷と性的搾取のためナイジェリア、コートジボワール、ベニン、セネガル、ギリシャ、スペイン向けに取引されている。中国人女性が、ギニア在住の中国人男性により、商業的な性的搾取のためギニアへ売られた。また、複数のネットワークにより、ナイジェリア、インド、ギリシャの女性達がギニアを経由してマグレブ諸国へ送られ、イタリア、ウクライナ、スイス、フランスなどの欧州諸国に取引されている。” [1e]

報告書は、以下のとおり加えた：

“ギニア政府は、人身売買を排除するための最低基準を順守していない。しかし、人材不足ながらも多大な努力は払っている。しかし、ギニアは人身売買を排除するために努力した証拠が不足しているとして、過去数年間第 2 階層監視リストにのっている。ギニアは 2 年連続で最小限の法的処置努力を示した一方、過去 1 年は保護努力が低下した。” [1e]

[目次へ戻る](#)
[出典にリンク](#)

麻薬取引

2008 年 10 月 10 日付 IRIN ニュースの報告：

ギニアは主要麻薬取引ハブとなり、同国での取引は場合によってはギニアビサウよりも危険な状況にある。国連犯罪事務所のアントニオ・マツィテッリ氏によると、ギニアビサウ政府による監視の強化により、取引場所がコロンビア、ベネズエラ、ナイジェリア、スペインなどの国々から、海岸沿いのギニアに移行しているという。

“ギニアでの麻薬取引量は不明だが、OCAD 新所長のサコ・ムッサ・カマラ氏は IRIN に対し、2007 年にギニアで 1,000kg 以上が押収された、と話している。また、同事務所は 2008 年 8 月 19 日から 9 月 15 日の間に 7,499kg の麻薬を押収したと話した。” [6a]

女性器切除 (FGM)

実施規模

USSD レポート 2007 年、2008 年 3 月 11 日付より抜粋：

“FGM は、全ての地域と全ての宗教、民族グループにおいて幅広く実施された。FGM は 4 歳から 17 歳の少女達に行われた。2005 年の Demographic and Health Survey (DHS)によると、FGM の国内普及率は 96 パーセントで、1999 年の 99 パーセントよりも若干減少した。FGM に反対する男性及び女性の数が増加しており、都市部の教育水準の高い家庭では、ごく小さい象徴的な切開の実施を選択していた。NGO がコミュニティに FGM を廃止するよう呼びかけた結果、数千もの家族がすぐに実施を中止した。NGO の TOSTAN は、伝統的に FGM 撲滅を目指して結婚しているコミュニティを団結することに成功した。” [2a] (セクション 5)

ドイツ技術協力公社 (GTZ) は、ギニアでの FGM に関する国情報告書、2007 年 11 月付、に次のとおり報告している：

“ギニアで最も普及している FGM はタイプ 2 で、その次がタイプ 1（ほとんどが、陰核全てを切除）、そしてタイプ 4 と続く。タイプ 3 はモワヤン・ギニー、ギニー・フォルスティエール、コナクリで見られ、切除全体の 10 パーセント強において陰門封鎖している。唯一の変化といえば、母親達が少女がこの慣習を受ける時期を遅らせており、医療の専門家が実施する場合が増えていることである。” [51a]

法的立場

GTZ の報告書では、さらに次のとおり述べている。

“2001～2010 年の全国反 FGM 運動は、現在では社会問題省、開発援助団体、国内の非営利団体などと協力関係にある。国内で FGM 関連の活動を企画する国家的組織はない。” [51a]

2007 年 USSD レポート、2008 年 3 月 11 日付より抜粋：“FGM は違法行為であり、3 か月の執行猶予と約 26 ドルの罰金が科される。” [2a] (セクション 5)

保護

‘女性器切除 – 世界の法律と政策ガイド’によると、女性器切除のために告訴された人はいない。(Zed) [25a] また、2007 年 USSD レポートは、2006 年内の起訴はなかったという。

[2a]
(セクション 5)

[目次へ戻る](#)
[出典にリンク](#)

集会、結社の自由

2007 年 USSD レポート、2008 年 3 月 11 日付より抜粋：

“法律では、結社の自由を規制しており、年内に警察が権力を行使した結果、女性や子どもを含む大人数のデモ隊が死亡したほか、数百人の負傷者を出した。刑法は、民族や人種的な集会、もしくは「国家統一を脅かす性質の集会」を禁じている。政府は、公的集会の 72 営業時間前に通知することを要求している。政府は自治体に対し、社会的秩序を乱すと判断したデモや集会を中止させることを許可している。当局は、結果的に暴動や建物の損害があった場合、集会主催者に刑事責任を問うこともある。” [2a] (セクション 2b)

報告書は、さらに次のとおり述べている。

“治安部隊は催涙ガス、暴力、銃器を用いてデモ隊を分散させ、その他大人数のデモ参加者を逮捕した。政府は治安部隊に対して何の処罰処置を取らなかった。” [2a] (セクション 2b)

フリーダム・ハウス、世界の自由 2008 年・ギニア、より抜粋：

“いくつかの法律では、明らかに憲法違反となる集会及び結社を規制し、憲法では、政府は国家統一を脅かすような集会を禁じることができる。しかし、人権団体とその他の非営利団体は、公然と活動を行っている。憲法では、集会を結成して参加する権利を認めている。いくつかの労働連合は、当局との集団交渉権を有している。2006 年の 8 日間にわたるゼネストは暴動と化し、当局による人権虐待と申し立てられ、最終的に給与と生活必需品の料金で和解した。2007 年初旬に起きた労働組合のデモは、政治に多大な影響を与え、全国ストによりコンテ氏は新たな首相を任命するに至った。” [21a]

[目次へ戻る](#)
[出典にリンク](#)

宗教の自由

USSD 国際宗教の自由報告書 2008 年（2008 年 9 月 19 日発行）は、次のとおり報告している：憲法は宗教の自由を定めており、同国の政府は実際にも全般に宗教の自由を尊重した。 [2b]

しかし、“非イスラム教徒は、政府が非イスラム教徒よりもイスラム教徒に有利となる政策を続けた、と政府を非難する人もいた。例えば、大学の休日を金曜日にして、イスラム教徒の学生がモスクに行けるようにしたが、日曜日に授業があるためキリスト教徒の学生が教会に行けなくなった。事務総局はメッカへの巡礼をイスラム・コミュニティに支援したが、キリスト教徒のコミュニティには同様の協力は何も行っていない。” [2b]

同報告書には、さらに以下のとおり記されている：

“宗教の種類や思想、慣習に起因した社会的虐待や差別はないと報告されている。しかしながら、国内の一部では、イスラムから宗教を変えることに対して文化的、社会的、

経済的な抑圧がある。例えば、ミッシヨナリー・コミュニティによると、ある男性がイスラム教からキリスト教に変え、彼の子どもとコミュニティが拒絶されたという。” [2b]

言論と表現の自由

USSD レポート 2007 年、2008 年 3 月 11 日より抜粋：“憲法と法律では、表現の自由が定められているが、政府は実際にこれらの権利を尊重しなかった。政府は 1～2 月のゼネストの間のみ、ラジオ局を閉鎖させ、ジャーナリストを脅した。一部のラジオの報道関係者は、自粛した。” [2a] (セクション 2a)

ジャーナリスト保護委員会 (CPJ) のレポート (2008 年 2 月 5 日) によると、新たに開局した民間のラジオ局が襲われ、ジャーナリストが脅され出版物が停止された。

“規模や一般の支持において前代未聞だったデモの間、130 人以上が主に政府の治安部隊に殺害された。この騒動は、2 月下旬にランサナ・コンテ大統領が、地元の労働組合から支持されていた外交官のランサナ・クヤテを首相に任命し、鎮圧された。クヤテの就任はコンテの残酷で時に気まぐれな規則に終止符を打ち、地元のジャーナリストは恐喝と検問が減ったと報告した。一方、大統領はほとんど公に姿を現さず、糖尿病とその他の疾患で治療中と報じられているが、事実上ギニアの経済と政府を牛耳っており、首相交代がギニアの報道に長期的な改善につながるか否かは引き続き不明確である。” [9a]

[目次へ戻る](#)
[出典にリンク](#)

3. 主要引用文書の索引

(KB ユーザー：文書番号をクリックすれば文書を直接参照可能)

主な実情・地理	[1a]	アメリカ中央情報局 (CIA)、 ワールドファクトブック、ギニア、最終更新日：2009 年 1 月 22 日 https://www.cia.gov/library/publications/the-world-fact-book/geos/gv.html
	[2a]	米務省 (USSD)、人権報告書 2007 - ギニア 2008 年 3 月 11 日 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2007/100485.htm
	[2c]	米務省 (USSD) バックグラウンド・ノート：ギニア、最終更新日：2008 年 10 月 http://www.state.gov/r/pa/ei/bgn/2824.htm
	[2e]	米務省 (USSD)、ギニア：国情報、2008 年 8 月 15 日 http://travel.state.gov/travel/cis_pa_tw/cis/cis_1132.html#
	[4a]	外務英連邦省、国家プロフィール：ギニア、最終更新日：2008 年 7 月 8 日 http://www.fco.gov.uk/en/about-the-fco/country-profiles/sub-saharan-africa/guinea/?view=Standard&version=2
	[7a]	英国放送協会(BBC)、国家プロフィール：ギニア、最終更新日：2009 年 1 月 1 日 http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/country_profiles/103231_1.stm
	[31a]	英国国際開発省 (DFID)、 国家プロフィール：ギニア、最終更新日：2007 年 4 月 19 日 http://www.dfid.gov.uk/countries/africa/guinea.asp
	[32a]	世界銀行、ギニア概況 http://web.worldbank.org/WBSITE/EXTERNAL/COUNTRIES/AFRICAEXT/GUINEAEXTN/0,,menuPK:351801~pagePK:141159~piPK:141110~theSitePK:351795,00.html
	[32b]	世界銀行、国家概要、最終更新日：2008 年 9 月 http://web.worldbank.org/WBSITE/EXTERNAL/COUNTRIES/AFRICAEXT/GUINEAEXTN/0,,menuPK:351805~pagePK:141132~piPK:141107~theSitePK:351795,00.html
	[38a]	国際移住機構 (IOM)、 ギニア：実情と統計値、2007 年 7 月 http://www.iom.int/jahia/Jahia/pid/395
	[39a]	ロイターアラートネット、ギニア、2008 年 12 月 3 日 http://www.alertnet.org/db/cp/guinea.htm
	[40a]	世界食糧計画 (WFP)、世界食糧計画 2007 http://www.wfp.org/policies/annual_reports/documents/2007_Ann_Rep_English.pdf
	[47a]	安全保障研究所、国家ファイルーギニア、最新版 http://www.issafrica.org/index.php?link_id=14&slink_id=3924&link_type=12&slink_type=12&tmpl_id=3

地図	[17a]	国際連合地図、ギニア地図、2004 年 6 月 http://www.un.org/Depts/Cartographic/map/profile/guinea.pdf
歴史	[1a]	アメリカ中央情報局 (CIA)、 ワールドファクトブック、ギニア、最終更新日：2009 年 1 月 22 日 https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/gv.html
	[2a]	米務省 (USSD)、人権報告書 2007 - ギニア 2008 年 3 月 11 日 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2007/100485.htm
	[2c]	米務省 (USSD) バックグラウンド・ノート：ギニア、最終更新日：2008 年 10 月 http://www.state.gov/r/pa/ei/bgn/2824.htm
	[4a]	外務英連邦省、国家プロフィール：ギニア、最終更新日：2008 年 7 月 8 日 http://www.fco.gov.uk/en/about-the-fco/country-profiles/sub-saharan-africa/guinea/?view=Standard&version=2
	[7a]	BBC、国家プロフィール：ギニア、最終更新日：2009 年 1 月 1 日 http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/country_profiles/1032311.stm
	[7b]	BBC タイムライン：ギニア、最終更新日：2009 年 1 月 1 日 http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/country_profiles/1032515.stm
	[16b]	自由の家、世界の自由 2008：ギニア http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=22&country=7404&year=2008
	[21a]	英国国際開発省、(DFID) 国家プロフィール：ギニア、最終更新日：2007 年 4 月 19 日 http://www.dfid.gov.uk/countries/africa/guinea.asp
	[31a]	世界銀行、国家概要、最終更新日：2008 年 9 月 http://web.worldbank.org/WBSITE/EXTERNAL/COUNTRIES/AFRICAEXT/GUINEAEXTN/0,,menuPK:351805~pagePK:141132~piPK:141107~theSitePK:351795,00.html
政治・近年の動向	[1a]	アメリカ中央情報局 (CIA)、 ワールドファクトブック、ギニア、最終更新日：2009 年 1 月 22 日 https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/gv.html
	[2a]	米務省 (USSD)、人権報告書 2007 - ギニア、2008 年 3 月 11 日 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2007/100485.htm
	[2c]	米務省 (USSD) バックグラウンド・ノート：ギニア、最終更新日：2008 年 10 月 http://www.state.gov/r/pa/ei/bgn/2824.htm
	[4a]	外務英連邦省、国家プロフィール：ギニア、最終更新日：

政治・近年の 動向 (続き)		2008 年 7 月 8 日 http://www.fco.gov.uk/en/about-the-fco/country-profiles/sub-saharan-africa/guinea/?view=Standard&version=2
	[4b]	外務英連邦省 (FCO) 渡航アドバイス、最終更新日：2008 年 12 月 1 日 http://www.fco.gov.uk/en/travelling-and-living-overseas/travel-advice-by-country/sub-saharan-africa/guinea
	[5a]	ヒューマン・ライツ・ウォッチ (HRW) ギニア：世界レポート 2009、 http://www.hrw.org/world-report-2009
	[6i]	国連人道問題調整部 (IRIN) 地域・国際的避難の拡大、2009 年 1 月 12 日 http://www.irinnews.org/Report.aspx?ReportId=82324
	[6j]	国連人道問題調整部 (IRIN) ギニア：新政府の慎重な楽観主義、2009 年 1 月 19 日 http://www.irinnews.org/Report.aspx?ReportId=82457
	[6k]	国連人道問題調整部 (IRIN) 市民社会は軍事政権に過去からの脱却を期待、2008 年 12 月 29 日 http://www.irinnews.org/Report.aspx?ReportId=82134
	[7a]	英国放送協会 (BBC) 国家プロフィール：ギニア、最終更新日：2009 年 1 月 1 日 http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/country_profiles/1032311.stm
	[7b]	英国放送協会 (BBC) BBCタイムライン：ギニア、最終更新日：2009 年 1 月 1 日 http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/country_profiles/1032515.stm
	[7c]	英国放送協会 (BBC) ギニア警察による抗議団体への催涙ガス使用、2008 年 11 月 4 日 http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/7706904.stm
	[7d]	英国放送協会 (BBC) ギニアの強硬派大統領死去、2008 年 12 月 23 日 http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/7796741.stm
	[7e]	英国放送協会 (BBC) ギニアでの軍事政権成立、2008 年 12 月 23 日 http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/7796902.stm
	[7f]	英国放送協会 (BBC) ギニアのクーデター主導者を数千人の市民が歓迎、2008 年 12 月 24 日 http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/7799279.stm
	[11a]	アムネスティ・インターナショナル (AI) 年次人権報告書 2008：ギニア http://thereport.amnesty.org/eng/regions/africa/guinea
	[16a]	国際危機グループ (ICG) ギニア、ホームページ、最新版 http://www.crisisgroup.org/home/index.cfm?id=1236&l=1

政治・近年の 動向 (続き)	[16b]	国際危機グループ (ICG)、紛争の歴史、更新日：2007 年 5 月 11 日 http://www.crisisgroup.org/home/index.cfm?action=conflict_search&l=1&t=1&c_country=44
	[16c]	国際危機グループ (ICG)、民主改革の保証、2008 年 6 月 24 日 http://www.crisisgroup.org/home/index.cfm?id=5503&l=1
	[16d]	国際危機グループ、変革の保留、2007 年 11 月 8 日 http://www.crisisgroup.org/home/index.cfm?id=5147&l=1
	[19c]	米国国際開発庁 ギニアの概要、最終更新日：2008 年 11 月 19 日 http://www.usaid.gov/locations/sub-saharan_africa/countries/guinea/index.html
	[21a]	自由の家、世界の自由 2008：ギニア http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=22&country=7404&year=2008
	[22a]	インターナショナル・ヘラルド・トリビューン、ガス騒動によりギニア情勢はさらに混迷化、2008 年 11 月 5 日 http://www.iht.com/articles/2008/11/05/africa/05guinea.php
	[32b]	世界銀行、国家概要、最終更新日：2008 年 9 月 http://web.worldbank.org/WBSITE/EXTERNAL/COUNTRIES/AFRICAEXT/GUINEAEXTN/0,,menuPK:351805~pagePK:141132~piPK:141107~theSitePK:351795,00.html
	[39b]	ロイターアラートネット、ギニアの騒乱、2008 年 1 月 22 日 http://www.alertnet.org/db/crisisprofiles/GN_UNR.htm
	[42a]	国際労働組合総連合、ギニアホームページ http://www.ituc-csi.org/spip.php?rubrique136
	[42b]	国際労働組合総連合 ギニア：苦闘する国に国際労働組合会議がもたらした希望、2007 年 5 月 23 日 http://www.ituc-csi.org/spip.php?article1155
	[40b]	世界食糧計画 (WFP)、調達データ、2008 年 12 月 2 日 http://www.wfp.org/operations/current_operations/ResUpdates/104530.pdf
	[40c]	世界食糧計画 (WFP)、WFP 運営要件：不足及び優先事項 2008、2008 年 10 月 http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/op_reports/wfp110572.pdf
	[47a]	安全保障研究所、国家ファイルーギニア、最新版 http://www.issafrica.org/index.php?link_id=14&slink_id=3924&link_type=12&slink_type=12&tmpl_id=3
	[48a]	国際連合開発プログラム、年次報告 2008、ギニア http://www.undp.org/publications/annualreport2008/pdf/IAR2008_ENG_low.pdf
	[52a]	国際通貨基金 (IMF)、ギニア国家報告書、2008 年 8 月 http://www.imf.org/external/pubs/ft/scr/2008/cr08275.pdf

政治・近年の 動向 (続き)	[50a]	ザ・ガーディアン、ランサナ・コンテ大統領死去後のギニアのクーデター、2008年12月23日 http://www.guardian.co.uk/world/2008/dec/23/guinea-dictator-lansana-conte-dies
人権 - 一般：	[2a]	米 국무省 (USSD)、人権報告書 2007 - ギニア、2008年3月11日 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2007/100485.htm
	[3a]	1990年ギニア共和国憲法 (フランス語) http://droit.francophonie.org/doc/html/gn/con/fr/1990/1990dfgncofr1.html
	[4a]	外務英連邦省、国家プロフィール：ギニア、最終更新日：2008年7月8日 http://www.fco.gov.uk/en/about-the-fco/country-profiles/sub-saharan-africa/guinea/?view=Standard&version=2
	[5a]	ヒューマン・ライツ・ウォッチ (HRW) ギニア：世界レポート 2009、 http://www.hrw.org/world-report-2009
	[5d]	ギニア首相への書簡、2008年8月13日 http://www.hrw.org/en/news/2008/08/13/letter-prime-minister-guinea
	[6g]	国連人道問題調整部 (IRIN) 鉱業界による「屈辱的弾圧」が和らぐ気配はない、2008年11月4日 http://www.irinnews.org/report.aspx?ReportId=81294
	[8a]	カナダ移民難民委員会、ギニア：家庭内児童虐待：被害者を対象とする国の保護 (2005 - 2007年2月)、2007年3月7日 http://www.cisr-irb.gc.ca/en/research/rir/?action=record.viewrec&gotorec=450975
	[11a]	アムネスティ・インターナショナル (AI) 年次人権報告書 2008：ギニア http://thereport.amnesty.org/eng/regions/africa/guinea
	[11b]	アムネスティ・インターナショナル (AI) ギニア：非常事態時でも基本的自由が侵されることはあってはならない、2007年2月14日 http://www.amnesty.org/en/library/asset/AFR29/002/2007/en/dom-AFR290022007en.html
	[11c]	アムネスティ・インターナショナル (AI) ギニア：「兵士はどこでも銃を撃っていた」、2007年6月27日 http://www.amnesty.org/en/library/info/AFR29/003/2007/en
	[11d]	ギニア：治安部隊が脅威を鎮静化、2008年6月27日 http://www.amnesty.org/en/library/asset/AFR29/004/2007/en/dom-AFR290042007en.html
	[21a]	自由の家、世界の自由 2008：ギニア http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=22&country=7404&year=2008

人権 - 一般(続き)	[35a]	ピースコープ、ギニアにおける多様性と異文化問題、最新版 http://www.peacecorpswiki.org/Diversity and cross-cultural issues in ギニア
	[37a]	国連人道問題調整事務所 (OCHA)、ギニアホームページ http://ochaonline.un.org/Default.aspx?alias=ochaonline.un.org/guinea
	[23a]	国連人権高等弁務官事務所(OHCHR)、ギニア ホームページ、2008 年 http://www.ohchr.org/EN/countries/AfricaRegion/Pages/GNIndex.aspx
人権 - 特定問題： (上記の一般報告書の他、下記文書に以下の問題に関する情報が提示されている)		
逮捕・拘留- 法的権利	[2a]	米 국무省 (USSD)、人権報告書 2007 - ギニア、2008 年 3 月 11 日 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2007/100485.htm
	[5a]	ヒューマン・ライツ・ウォッチ (HRW) ギニア：世界レポート 2009、 http://www.hrw.org/world-report-2009
児童	[2a]	米 국무省 (USSD)、人権報告書 2007 - ギニア、2008 年 3 月 11 日 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2007/100485.htm
	[2c]	米 국무省 (USSD) バックグラウンド・ノート：ギニア、最終更新日：2008 年 10 月 http://www.state.gov/r/pa/ei/bgn/2824.htm
	[2d]	米 국무省 (USSD)、個人間不正取引報告書 2008、2008 年 6 月 4 日 http://www.state.gov/g/tip/rls/tiprpt/2008/105387.htm
	[2e]	米 국무省 (USSD)、ギニア：国情報、2008 年 8 月 15 日 http://travel.state.gov/travel/cis_pa_tw/cis/cis_1132.html#
	[5a]	ヒューマン・ライツ・ウォッチ (HRW) ギニア：世界レポート 2009、 http://www.hrw.org/world-report-2009
	[5c]	ヒューマン・ライツ・ウォッチ (HRW)、刑事免責中止の緊急性、2008 年 8 月 13 日 http://www.hrw.org/en/news/2008/08/13/guinea-new-leader-should-address-rights-abuses
	[5e]	ヒューマン・ライツ・ウォッチ (HRW)、国外での新兵募集者を起訴する方策を指揮官に通告、2008 年 10 月 8 日 http://www.hrw.org/en/news/2008/10/08/united-states-bush-signs-law-child-soldiers
	[8a]	カナダ移民難民委員会 (CIRB)、ギニア：家庭内児童虐待：被害者を対象とする国の保護 (2005 - 2007 年 2 月)、2007 年 3 月 7 日 http://www.cisr-

児童 (続き)		irb.gc.ca/en/research/rir/?action=record.viewrec&gotorec=450975 [11a] アムネスティ・インターナショナル (AI) 年次人権報告書 2008 : ギニア http://thereport.amnesty.org/eng/regions/africa/guinea [12a] ユニセフ (UNICEF) 概説 : ギニア http://www.unicef.org/infobycountry/guinea.html [15a] 子ども兵士徴用廃止をめざす連合 国際報告書 2008 : ギニア http://www.child-soldiers.org/regions/country?id=89 [21a] 自由の家、世界の自由 2008 : ギニア http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=22&country=7404&year=2008 [26a] フェミニスト・ドットコム http://www.feminist.com/ 国際資料便覧、ギニア http://www.feminist.com/antiviolence/global.html#sub [32c] 世界銀行、 世界銀行、ギニアの教育部門に 1,000 万米ドルを追加出資、2008 年 10 月 30 日 http://web.worldbank.org/WBSITE/EXTERNAL/COUNTRIES/AFRICAEXT/GUINEAEXTN/0,,contentMDK:21959997~menuPK:351801~pagePK:2865066~piPK:2865079~theSitePK:351795,00.html [45a] セーブ・ザ・チルドレン : ギニア最新情報、2008 年 3 月 19 日 http://www.savethechild.org/countries/africa/guinea.html
市民権・国籍	[30a]	外務国際貿易省 ギニア : 渡航レポート、2009 年 1 月 14 日 http://www.voyage.gc.ca/dest/report-en.asp?country=114000
汚職	[6h] [7f] [19b] [27a]	国連人道問題調整部 (IRIN) 汚職に関する風説が拡大、2008 年 9 月 24 日 http://www.irinnews.org/report.aspx?ReportId=80575 英国放送協会 (BBC) ギニアが汚職に関する公聴会を開催、2009 年 1 月 22 日 http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/7844674.stm 米国国際開発庁 ギニアにおける反汚職活動、2008 年 5 月 29 日 http://www.usaid.gov/gn/news/2008/Anti-Corruption/Anti-corruption.htm オールアフリカ・ドットコム ギニア : 汚職により水道システムから漏水、2008 年 5 月 27 日 http://allafrica.com/stories/200805270987.html
犯罪	[2a]	米務省 (USSD)、人権報告書 2007 - ギニア、2008 年 3 月 11 日 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2007/100485.htm

	[2e] 米 국무省 (USSD)、ギニア：国情報、2008 年 8 月 15 日 http://travel.state.gov/travel/cis_pa_tw/cis/cis_1132.html# [4b] 外務英連邦省 (FCO) 渡航アドバイス、最終更新日：2008 年 12 月 31 日 http://www.fco.gov.uk/en/travelling-and-living-overseas/travel-advice-by-country/sub-saharan-africa/guinea [10a] 国際連合、西アフリカで薬物犯罪が深刻化：国連当局に警告、2008 年 10 月 28 日 http://www.un.org/apps/news/story.asp?NewsID=28738&Cr=Drug&Cr1=West+Africa [41b] 海外安全対策協議会 ギニア 2008 犯罪・安全報告書、2008 年 4 月 29 日 https://www.osac.gov/Reports/report.cfm?contentID=83622 [41c] 海外安全対策協議会 (OSAC) 危険通知：ギニアで凶悪犯罪が増加、2008 年 11 月 26 日 https://www.osac.gov/Reports/report.cfm?contentID=93828
死刑	[11c] アムネスティ・インターナショナル、死刑廃止論・存続論を唱える諸国、最終更新日：2007 年 9 月 19 日 http://web.amnesty.org/pages/deathpenalty-countries-eng [34a] ハンズ・オブ・ケイン 死刑に関する国情、更新日：2008 年 10 月 8 日 http://www.handsoffcain.info/news/index.php?iddocumento=10318377
身体障害者	[2a] 米 국무省 (USSD)、人権報告書 2007 - ギニア、2008 年 3 月 11 日 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2007/100485.htm
雇用権	[2a] 米 국무省 (USSD)、人権報告書 2007 - ギニア、2008 年 3 月 11 日 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2007/100485.htm
民族	[1a] アメリカ中央情報局 (CIA)、ワールドファクトブック：ギニア、最終更新日：2009 年 1 月 22 日 https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/gv.html [2a] 米 국무省 (USSD)、人権報告書 2007 - ギニア、2008 年 3 月 11 日 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2007/100485.htm [2c] 米 국무省 (USSD) バックグラウンド・ノート：ギニア、最終更新日：2008 年 10 月 http://www.state.gov/r/pa/ei/bgn/2824.htm [4a] 外務英連邦省、国家プロフィール：ギニア、最終更新日：2008 年 7 月 8 日 http://www.fco.gov.uk/en/about-the-fco/country-profiles/sub-saharan-africa/guinea/?view=Standard&version=2 [8d] カナダ移民難民委員会、(CIRB) ギニア：マリンケ族とプル族を中心とする種族間婚姻およ

民族 (続き)		びその婚姻に関する認識；異人種間婚姻に両親が反対している夫婦を対象とする国の保護 http://www.cisr-irb.gc.ca/en/research/rir/?action=record.viewrec&gotorec=451429 [20a] エスノローグ ギニア語 http://www.ethnologue.com/show_country.asp?name=Guinea [44a] ジョシュアプロジェクト、世界宣教米国センター、一般国家データ、最終更新日：2008年10月22日 http://www.joshuaproject.net/countries.php?rog3=GV
出入国手続	[2e] [4b]	米務省 (USSD)、ギニア：国情報、2008年8月15日 http://travel.state.gov/travel/cis_pa_tw/cis/cis_1132.html# 外務英連邦省 (FCO) 渡航アドバイス、最終更新日：2008年12月31日 http://www.fco.gov.uk/en/travelling-and-living-overseas/travel-advice-by-country/sub-saharan-africa/guinea
強制退去	[21a]	自由の家、世界の自由 2008：ギニア http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=22&country=7404&year=2008
国外難民	[24a]	米難民移民委員会、 世界難民報告書 2008 – ギニア、2008年6月18日 http://www.refugees.org/countryreports.aspx?id=2142
移転の自由	[2a] [2b]	米務省 (USSD)、人権報告書– ギニア、2008年3月11日 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2007/100485.htm 米務省、国際宗教的自由報告書 2008、2008年9月19日 http://www.state.gov/g/drl/rls/irf/2008/108372.htm
信仰の自由	[2a] [2b] [5a] [21a]	米務省 (USSD)、人権報告書– ギニア、2008年3月11日 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2007/100485.htm 米務省、国際宗教的自由報告書 2008、2008年9月19日 http://www.state.gov/g/drl/rls/irf/2008/108372.htm ヒューマン・ライツ・ウォッチ (HRW) ギニア：世界レポート 2009、 http://www.hrw.org/world-report-2009 自由の家、世界の自由 2008：ギニア http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=22&country=7404&year=2008
発言・報道の自由	[2a] [5a]	米務省 (USSD)、人権報告書 2007：ギニア、2008年3月11日 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2007/100485.htm ヒューマン・ライツ・ウォッチ (HRW) ギニア：世界レポート 2009、 http://www.hrw.org/world-report-2009

発言・報道の自由 (続き)	[9a]	ジャーナリスト保護委員会 (CPJ)、ギニア紙の編集禁止を CPJ が非難、2008 年 5 月 28 日 http://cpj.org/2008/05/cpj-condemns-ban-of-guinean-paper-over-editorial.php
	[9b]	ジャーナリスト保護委員会 (CPJ) 2007 年の報道機関への攻撃、ギニア、2008 年 2 月 5 日 http://cpj.org/2008/02/attacks-on-the-press-2007-guinea.php
	[9c]	ジャーナリスト保護委員会 (CPJ) ギニア二紙が発行停止、記者の取材禁止、2008 年 1 月 4 日 http://cpj.org/2008/01/two-guinean-newspapers-suspended-reporters-banned.php
	[14a]	Reporters sans Frontieres (国境なき記者団) : アフリカ年次報告書 2008 http://www.rsf.org/IMG/pdf/rapport_en-2.pdf
	[21a]	自由の家、世界の自由 2008 : ギニア http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=22&country=7404&year=2008
人権機関、団体、活動家	[2a]	米 국무省 (USSD)、人権報告書 2007 - ギニア、2008 年 3 月 11 日 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2007/100485.htm
	[21a]	自由の家、世界の自由 2008 : ギニア http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=22&country=7404&year=2008
HIV/エイズ	[1a]	アメリカ中央情報局 (CIA)、ワールドファクトブック : ギニア、最終更新日 : 2009 年 1 月 22 日 https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/gv.html
	[6e]	国連人道問題調整部 (IRIN) 鉱業地帯でのエイズ感染、2008 年 11 月 28 日 http://www.irinnews.org/report.aspx?ReportId=81724
	[6f]	国連人道問題調整部 (IRIN) ドナーへの依存により HIV 拡大への注目度が低下、2008 年 11 月 25 日
	[19d]	http://www.irinnews.org/report.aspx?ReportId=81660 米国国際開発庁 (USAID)、ギニア : HIV/エイズ保健プロフィール、2008 年 9 月 http://www.usaid.gov/our_work/global_health/aids/Countries/africa/guinea_profile.pdf
	[27b]	オールアフリカ・ドットコム、鉱業地帯でのエイズ感染、2008 年 11 月 28 日 http://allafrica.com/stories/200811280968.html
	[27c]	オールアフリカ・ドットコム、ドナーへの依存により HIV 拡大への注目度が低下、2008 年 11 月 27 日 http://allafrica.com/stories/200811270679.html
国内避難民 (IDP)	[2a]	米 국무省 (USSD)、人権報告書 2007 - ギニア、2008 年 3 月 11 日

国内避難民 (IDP) (続き)		http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2007/100485.htm
	[5a]	ヒューマン・ライツ・ウォッチ (HRW) ギニア：世界レポート 2009 http://www.hrw.org/world-report-2009
	[11a]	アムネスティ・インターナショナル (AI) 年次人権報告書 2008：ギニア http://thereport.amnesty.org/eng/regions/africa/guinea
司法制度	[2a]	米 국무省 (USSD)、人権報告書 2007 - ギニア、2008 年 3 月 11 日 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2007/100485.htm
	[2c]	米 국무省 (USSD) バックグラウンド・ノート：ギニア、最終更新日：2008 年 10 月 http://www.state.gov/r/pa/ei/bgn/2824.htm
	[5a]	ヒューマン・ライツ・ウォッチ (HRW) ギニア：世界レポート 2009 http://www.hrw.org/world-report-2009
	[11a]	アムネスティ・インターナショナル (AI) 年次人権報告書 2008：ギニア http://thereport.amnesty.org/eng/regions/africa/guinea
	[21a]	自由の家、世界の自由 2008：ギニア http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=22&country=7404&year=2008
レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー	[8c]	カナダ移民難民委員会 (CIRB) ギニア：同性愛者に対する社会と政府機関の対応；虐待を受けた同性愛者を対象とする法の行使と保護 (2005 - 2007 年 3 月)、2007 年 5 月 18 日 http://www.cisr-irb.gc.ca/en/research/rir/?action=record.viewrec&gotorec=451089
	[13a]	ソドミー法 世界法：ギニア、最終編集日：2005 年 2 月 12 日 http://www.sodomylaws.org/world/guinea/guinea.htm
	[33a]	ビハインド・ザ・マスク、ギニア (日付なし) http://www.mask.org.za/index.php?page=guinea
	[43a]	アサイラム法、性的少数者と法律：世界調査、更新日：2006 年 7 月 http://www.ai-lgbt.org/texts/lgbt2006.rtf
医療問題	[2e]	米 국무省 (USSD)、ギニア：国情報、2008 年 8 月 15 日 http://travel.state.gov/travel/cis_pa_tw/cis/cis_1132.html#
	[4b]	外務英連邦省 (FCO) 渡航アドバイス、最終更新日：2008 年 12 月 31 日 http://www.fco.gov.uk/en/travelling-and-living-overseas/travel-advice-by-country/sub-saharan-africa/guinea
	[18a]	世界保健機関 (WHO)、国家プロフィール：ギニア、2006 年

医療問題 (続き)		http://www.who.int/countries/gin/en/ [18b] 世界保健機関 (WHO), 精神衛生図録 2005、ギニアファクトシート http://www.afro.who.int/dnc/databases/mnh/guinea.pdf [18c] 世界保健機関 (WHO)、ギニア：世界保健統計年鑑 2006 2008 http://www.who.int/whosis/database/core/core_select_process.cfm [19c] 米国国際開発庁 ギニアの概要、最終更新日：2008年11月19日 http://www.usaid.gov/locations/sub-saharan_africa/countries/guinea/index.html [31b] 英国国際開発省、致死性熱帯病により 5,000 万ポンドの損失、2008年9月22日 http://www.dfid.gov.uk/news/files/pressreleases/tropical-diseases.asp [46a] 国境なき医師団、ギニア刑務所の劣悪な環境による民間受刑者の栄養失調・結核感染 http://www.msf.org/msfinternational/countries/africa/guinea/index.cfm
兵役	[2a]	米務省 (USSD)、人権報告書 2007 - ギニア、2008年3月11日 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2007/100485.htm
政治的所属	[2a] [11a] [21a]	米務省 (USSD)、人権報告書 2007 - ギニア、2008年3月11日 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2007/100485.htm アムネスティ・インターナショナル (AI) 年次人権報告書 2008：ギニア http://thereport.amnesty.org/eng/regions/africa/guinea 自由の家、世界の自由 2008：ギニア http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=22&country=7404&year=2008
刑務所の状況	[2a] [5c] [21a]	米務省 (USSD)、人権報告書 2007 - ギニア、2008年3月11日 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2007/100485.htm ヒューマン・ライツ・ウォッチ、刑事免責中止の緊急性、2008年8月13日 http://www.hrw.org/en/news/2008/08/13/guinea-new-leader-should-address-rights-abuses 自由の家、世界の自由 2008：ギニア http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=22&country=7404&year=2008
治安部隊	[1a]	アメリカ中央情報局 (CIA)、ワールドファクトブック、ギニア、最終更新日：2009年1月22日 https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/gv.html

治安部隊 (続き)	[2a]	米 국무省 (USSD)、人権報告書 2007 - ギニア、2008 年 3 月 11 日 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2007/100485.htm
	[2e]	米 국무省 (USSD)、ギニア：国情報、2008 年 8 月 15 日 http://travel.state.gov/travel/cis_pa_tw/cis/cis_1132.html#
	[4b]	外務英連邦省 (FCO) 渡航アドバイス、最終更新日：2008 年 12 月 31 日 http://www.fco.gov.uk/en/travelling-and-living-overseas/travel-advice-by-country/sub-saharan-africa/guinea
	[5a]	ヒューマン・ライツ・ウォッチ (HRW) ギニア：世界レポート 2009 http://www.hrw.org/world-report-2009
	[5b]	ヒューマン・ライツ・ウォッチ (HRW)、抗議団体への発砲について政府は早急に調査すべき、2008 年 11 月 5 日 http://www.hrw.org/en/news/2008/11/05/guinea-require-security-forces-use-restraint
	[6e]	国連人道問題調整部 (IRIN) ギニア：陸軍基地の「一般公開」により軍と市民との関係の緊張緩和を目指す、2007 年 8 月 29 日 http://www.irinnews.org/Report.aspx?ReportId=74010
	[6g]	国連人道問題調整部 (IRIN) 政府が陸軍との公約を果たす方法に関する疑問、2007 年 5 月 18 日 http://www.irinnews.org/Report.aspx?ReportId=72250
	[11d]	アムネスティ・インターナショナル、ギニア：治安部隊が脅威を鎮静化、2008 年 6 月 27 日 http://www.amnesty.org/en/library/asset/AFR29/004/2007/en/dom-AFR290042007en.html
	[21a]	自由の家、世界の自由 2008：ギニア http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=22&country=7404&year=2008
	[41a]	海外安全対策協議会 国家プロフィール https://www.osac.gov/Regions/country.cfm?country=119
	[41d]	海外安全対策協議会 (OSAC) ギニアの騒乱により治安状態の不透明化が拡大、2008 年 11 月 10 日 https://www.osac.gov/Reports/report.cfm?contentID=93276
テロリズム	[2a]	米 국무省 (USSD)、人権報告書 2007 - ギニア、2008 年 3 月 11 日 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2007/100485.htm
不正取引	[2d]	米 국무省 (USSD)、個人間不正取引報告書 2008、2008 年 6 月 4 日 http://www.state.gov/g/tip/rls/tiprpt/2008/105387.htm
女性	[2a]	米 국무省 (USSD)、人権報告書 2007 - ギニア、2008 年 3 月

女性 (続き)		1 日 http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2007/100485.htm
	[2d]	米務省 (USSD)、個人間不正取引報告書 2008、2008 年 6 月 4 日 http://www.state.gov/g/tip/rls/tiprpt/2008/105387.htm
	[2f]	女性器切除 (FGM) または女子割礼 (FGC) 報告書、2001 年 6 月 1 日発表 http://www.asylumlaw.org/docs/guinea/usdos01_fgm_Guinea.pdf
	[8b]	カナダ移民難民委員会 (CIRB) ギニア：家庭内暴力の被害を受けた女性を対象とする保護、サービスおよび法の行使 (2004 - 2007 年 2 月)、2007 年 3 月 6 日 http://www.cisr-irb.gc.ca/en/research/rir/?action=record.viewrec&gotorec=450976
	[21a]	自由の家、世界の自由 2008：ギニア http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=22&country=7404&year=2008
	[25a]	Zed、「女性器切除(FGM)－世界の法律・政策ガイド」2001 年出版
	[26a]	フェミニスト・ドットコム、グローバル・リソース・ガイド、ギニア http://www.feminist.com/antiviolence/global.html#sub
	[28a]	女性への暴力根絶 アフリカにおける女子割礼者数、USAID データ、2008 年 3 月 http://endvaw.infoforhealth.org/search/search_results.php?start_num=0&query=%22Numbers+of+women+circumcised+in+Africa%22+&subquery
	[36a]	ピースウィメン・ドットオルグ、ギニア 女性、平和、安全保障に関する安全保障理事会公開討論 - 2007 年 10 月 23 日 http://www.peacewomen.org/un/7thAnniversary/Open_Debate/Guinea_eng.pdf
	[51a]	GTZ、グッドガバナンスと女性器切除 http://www.gtz.de/de/dokumente/gtz-en-good-governance-fgm-2007.pdf
	[51b]	ギニアの女性器切除 http://www.gtz.de/de/dokumente/en-fgm-countries-guinea.pdf

目次へ戻る
出典にリンク

4. 参考文献リスト

- [1] アメリカ中央情報局 (CIA)、<https://www.cia.gov/>
 a ワールドファクトブック、ギニア、最終更新日：2009年1月22日
<https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/gv.html>
 アクセス日：2009年1月19日
- [2] 米 국무省 (USSD) <http://www.state.gov>
 a 国別人権報告書 2007、2008年3月11日
<http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2007/100485.htm>
 アクセス日：2008年11月10日
 b 国際宗教的自由報告書 2008、2008年9月19日
<http://www.state.gov/g/drl/rls/irf/2008/108372.htm>
 アクセス日：2008年11月10日
 c バックグラウンド・ノート：ギニア、最終更新日：2008年10月
<http://www.state.gov/r/pa/ei/bgn/2824.htm>
 アクセス日：2008年11月12日
 d 個人間不正取引報告書、2008年6月4日
<http://www.state.gov/g/tip/rls/tiprpt/2008/105387.htm>
 アクセス日：2008年11月6日
 e ギニア、国情報、2008年8月15日
http://travel.state.gov/travel/cis_pa_tw/cis/cis_1132.html#
 アクセス日：2008年12月5日
 f ギニア：女性器切除 (FGM) または女子割礼 (FGC) 報告書、2001年6月1日発表
http://www.asylumlaw.org/docs/guinea/usdos01_fgm_Guinea.pdf
 アクセス日：2008年12月8日
- [3] 憲法
 a 1990年ギニア共和国憲法 (フランス語)、1990年1月1日
<http://droit.francophonie.org/df-web/publication.do?publicationId=4279>
 アクセス日：2008年11月28日
- [4] 外務英連邦省 (FCO)、英国、<http://www.fco.gov.uk/>
 a 国家プロフィール：ギニア、最終更新日：2008年7月8日
<http://www.fco.gov.uk/en/about-the-fco/country-profiles/sub-saharan-africa/guinea/?view=Standard&version=2>
 アクセス日：2008年11月28日
 b 渡航アドバイス、最終更新日：2008年12月31日
<http://www.fco.gov.uk/en/travelling-and-living-overseas/travel-advice-by-country/sub-saharan-africa/guinea>
 アクセス日：2009年1月23日
- [5] ヒューマン・ライツ・ウォッチ (HRW)、<http://hrw.org/>
 a ギニア：世界レポート 2009、日付なし
<http://www.hrw.org/world-report-2009>
 アクセス日：2009年1月19日
 b 抗議団体への発砲について政府は早急に調査すべき、2008年11月5日
<http://www.hrw.org/en/news/2008/11/05/guinea-require-security-forces-use-restraint>
 アクセス日：2008年12月1日

- c 刑事免責中止の緊急性、2008 年 8 月 13 日
<http://www.hrw.org/en/news/2008/08/13/guinea-new-leader-should-address-rights-abuses>
アクセス日：2008 年 12 月 1 日
- d ギニア首相への書簡、2008 年 8 月 13 日
<http://www.hrw.org/en/news/2008/08/13/letter-prime-minister-guinea>
アクセス日：2008 年 12 月 1 日
- e 国外での新兵募集者を起訴する方策を指揮官に通告、2008 年 10 月 8 日
<http://www.hrw.org/en/news/2008/10/08/united-states-bush-signs-law-child-soldiers>
アクセス日：2008 年 12 月 1 日

[6] 国連人道問題調整部 (IRIN) <http://www.irinnews.org/>

- a 麻薬取引「ギニアビサウよりも潜在的な危険性が高い」、2008 年 10 月 10 日
<http://www.irinnews.org/report.aspx?ReportId=80865>
アクセス日：2008 年 11 月 10 日
- b 光が差し込むまでデモを続けるとの決意を若者たちが表明、2008 年 9 月 10 日
<http://www.irinnews.org/report.aspx?ReportId=80285>
アクセス日：2008 年 11 月 10 日
- c 疑惑の 2008 年選挙、2008 年 6 月 25 日
<http://www.irinnews.org/Report.aspx?ReportId=78943>
アクセス日：2008 年 11 月 10 日
- d 汚職に関する風説が拡大、2008 年 9 月 24 日
<http://www.irinnews.org/report.aspx?ReportId=80575>
アクセス日：2008 年 11 月 27 日
- e 鉱業地帯でのエイズ感染、2008 年 11 月 28 日
<http://www.irinnews.org/report.aspx?ReportId=81724>
アクセス日：2008 年 12 月 4 日
- f ドナーへの依存により HIV 拡大への注目度が低下、2008 年 11 月 25 日
<http://www.irinnews.org/report.aspx?ReportId=81660>
アクセス日：2008 年 12 月 4 日
- g 鉱業界による「屈辱的弾圧」が和らぐ気配はない、2008 年 11 月 4 日
<http://www.irinnews.org/report.aspx?ReportId=81294>
アクセス日：2008 年 12 月 4 日
- h 汚職に関する風説が拡大、2008 年 9 月 24 日
<http://www.irinnews.org/report.aspx?ReportId=80575>
アクセス日：2008 年 12 月 4 日
- i 地域・国際的悲難の拡大、2009 年 1 月 12 日
<http://www.irinnews.org/Report.aspx?ReportId=82324>
アクセス日：2009 年 1 月 23 日
- j 新政府の慎重な楽観主義、2009 年 1 月 19 日
<http://www.irinnews.org/Report.aspx?ReportId=82457>
アクセス日：2009 年 1 月 23 日
- k 市民社会は軍事政権に過去からの脱却を期待、2008 年 12 月 29 日
<http://www.irinnews.org/Report.aspx?ReportId=82134>
アクセス日：2009 年 1 月 23 日

- [7] 英国放送協会 (BBC) <http://www.bbc.co.uk/>
- a 国家プロフィール：ギニア、最終更新日：2009年1月1日
http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/country_profiles/1032311.stm
アクセス日：2009年1月19日
 - b タイムライン：ギニア、最終更新日：2009年1月1日
http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/country_profiles/1032515.stm
アクセス日：2009年1月19日
 - c ギニア警察による抗議団体への催涙ガス使用、2008年11月4日
<http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/7706904.stm>
アクセス日：2008年12月4日
 - d ギニアの強硬派大統領死去、2008年12月23日
<http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/7796741.stm>
アクセス日：2008年12月23日
 - e ギニアでの軍事政権成立、2008年12月23日
<http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/7796902.stm>
アクセス日：2008年12月23日
 - f ギニアのクーデター主導者を数千人の市民が歓迎、2008年12月24日
<http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/7799279.stm>
アクセス日：2008年12月24日
 - g ギニアが汚職に関する公聴会を開催、2009年1月22日
<http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/7844674.stm>
アクセス日：2009年1月19日
- [8] カナダ移民難民委員会、<http://www.cisr-irb.gc.ca/>
- a ギニア：家庭内児童虐待：被害者を対象とする国の保護 (2005 - 2007年2月)、2007年3月7日
<http://www.cisr-irb.gc.ca/en/research/rir/?action=record.viewrec&gotorec=450975>
アクセス日：2008年12月2日
 - b ギニア：家庭内暴力の被害を受けた女性を対象とする保護、サービスおよび法の行使 (2004 - 2007年2月)、2007年3月6日
アクセス日：2008年12月2日
<http://www.cisr-irb.gc.ca/en/research/rir/?action=record.viewrec&gotorec=450976>
アクセス日：2008年12月2日
 - c ギニア：同性愛者に対する社会と政府機関の対応；虐待を受けた同性愛者を対象とする法の行使と保護 (2005 - 2007年3月)、2007年5月18日
<http://www.cisr-irb.gc.ca/en/research/rir/?action=record.viewrec&gotorec=451089>
アクセス日：2008年12月2日
 - d ギニア：マリンケ族とプル族を中心とする種族間婚姻およびその婚姻に関する認識；異人種間婚姻に両親が反対している夫婦を対象とする国の保護
<http://www.cisr-irb.gc.ca/en/research/rir/?action=record.viewrec&gotorec=451429>
アクセス日：2008年12月2日
- [9] ジャーナリスト保護委員会 (CPJ) <http://www.cpj.org>
- a ギニア紙の編集禁止を CPJ が非難、2008年5月28日
<http://cpj.org/2008/05/cpj-condemns-ban-of-guinean-paper-over-editorial.php>
アクセス日：2008年12月2日
 - b 2007年の報道機関への攻撃、ギニア、2008年2月5日

<http://cpj.org/2008/02/attacks-on-the-press-2007-guinea.php>

アクセス日：2008年12月2日

- c ギニア二紙が発行停止、記者の取材禁止、2008年1月4日
<http://cpj.org/2008/01/two-guinean-newspapers-suspended-reporters-banned.php>
アクセス日：2008年12月2日

[10] 国際連合、www.un.org

- a 西アフリカで薬物犯罪が深刻化：国連当局に警告、2008年10月28日
<http://www.un.org/apps/news/story.asp?NewsID=28738&Cr=Drug&Cr1=West+Africa>
アクセス日：2008年12月5日

[11] アムネスティ・インターナショナル (AI) <http://www.amnesty.org/>

- a 年次人権報告書 2008：ギニア
<http://thereport.amnesty.org/eng/regions/africa/guinea>
アクセス日：2008年11月10日
- b ギニア：非常事態時でも基本的自由が侵されることはあってはならない、2007年2月14日
<http://www.amnesty.org/en/library/asset/AFR29/002/2007/en/dom-AFR290022007en.html>
アクセス日：2008年11月10日
- c ギニア：「兵士はどこでも銃を撃っていた」、2007年6月27日
<http://www.amnesty.org/en/library/info/AFR29/003/2007/en>
アクセス日：2008年11月10日
- d ギニア：治安部隊が脅威を鎮静化、2008年6月27日
<http://www.amnesty.org/en/library/asset/AFR29/004/2007/en/dom-AFR290042007en.html>
アクセス日：2008年11月10日

[12] ユニセフ (UNICEF)、<http://www.unicef.org>

- a 概説：ギニア
<http://www.unicef.org/infobycountry/guinea.html>
アクセス日：2008年12月1日

[13] ソドミー法 <http://www.sodomylaws.org/>

- a 世界法：ギニア、最終編集日：2005年2月12日
<http://www.sodomylaws.org/world/guinea/guinea.htm>
アクセス日：2008年12月2日

[14] Reporters sans Frontieres (国境なき記者団) <http://www.rsf.org>

- a アフリカ年次報告書 2008
http://www.rsf.org/IMG/pdf/rapport_en-2.pdf
アクセス日：2008年12月2日

[15] 子ども兵士徴用廃止をめざす連合 <http://www.child-soldiers.org>

- a 国際報告書 2008：ギニア
<http://www.child-soldiers.org/regions/country?id=89>
アクセス日：2008年12月2日

[16] 国際危機グループ (ICG)

- a ギニア、ホームページ、最新版

- <http://www.crisisgroup.org/home/index.cfm?id=1236&l=1>
アクセス日：2008年12月3日
- b 紛争の歴史、更新日：2007年5月11日
http://www.crisisgroup.org/home/index.cfm?action=conflict_search&l=1&t=1&c_country=44
アクセス日：2008年12月3日
- c ギニア：民主改革の保証、アフリカ概要報告書 N°52、2008年6月24日
<http://www.crisisgroup.org/home/index.cfm?id=5503&l=1>
アクセス日：2008年12月3日
- d ギニア：変革の保留、2007年11月8日
<http://www.crisisgroup.org/home/index.cfm?id=5147&l=1>
アクセス日：2008年12月3日
- [17] 国際連合 地図、
- a ギニア地図
<http://www.un.org/Depts/Cartographic/map/profile/guinea.pdf>
アクセス日：2008年12月2日
- [18] 世界保健機関 (WHO)、<http://www.who.int/en/>
- a 国家プロフィール 2006：ギニア
<http://www.who.int/countries/gin/en/>
アクセス日：2008年12月3日
- b 精神衛生図録 2005、ギニアファクトシート
<http://www.afro.who.int/dnc/databases/mnh/guinea.pdf>
アクセス日：2008年12月3日
- c ギニア：世界保健統計 2008
http://www.who.int/whosis/database/core/core_select_process.cfm
アクセス日：2008年12月3日
- [19] 米国国際開発庁 (USAID)、<http://www.usaid.gov/>
- a サハラ以南アフリカ地域への米国貿易投資政策およびアフリカ成長機会法の施行に関する 2008 年総合報告書、2008 年 5 月
http://www.usaid.gov/locations/sub-saharan_africa/initiatives/2008_agoa_ustr_report.pdf
アクセス日：2008年11月10日
- b ギニアにおける反汚職活動、2008年5月29日
<http://www.usaid.gov/gn/news/2008/Anti-Corruption/Anti-corruption.htm>
アクセス日：2008年11月27日
- c ギニア概要、最終更新日：2008年11月19日
http://www.usaid.gov/locations/sub-saharan_africa/countries/guinea/index.html
アクセス日：2008年12月3日
- d ギニア：HIV/エイズ保健プロフィール、2008年9月
http://www.usaid.gov/our_work/global_health/aids/Countries/africa/guinea_profile.pdf
アクセス日：2008年12月3日
- [20] エスノローグ、<http://www.ethnologue.com/home.asp>
- a ギニア語、2005年
http://www.ethnologue.com/show_country.asp?name=Guinea
アクセス日：2007年11月26日

- [21] 自由の家、<http://www.freedomhouse.org/>
a 世界の自由 2008：ギニア
<http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=22&country=7404&year=2008>
アクセス日：2008年11月13日
- [22] インターナショナル・ヘラルド・トリビューン、<http://www.ihf.com/>
a ガス騒動によりギニア情勢はさらに混迷化、2008年11月5日
<http://www.ihf.com/articles/2008/11/05/africa/05guinea.php>
アクセス日：2008年12月3日
- [23] 国連人権高等弁務官事務所 (OHCHR)、<http://www.ohchr.org>
a ギニアホームページ、2008年
<http://www.ohchr.org/EN/countries/AfricaRegion/Pages/GNIndex.aspx>
アクセス日：2008年12月10日
- [24] 米難民移民委員会、<http://www.refugees.org/>
a 世界難民報告書 2008－ギニア、2008年6月18日
<http://www.refugees.org/countryreports.aspx?id=2142>
アクセス日：2008年11月10日
- [25] Zed
a 「女性器切除－世界の法律・政策ガイド」2001年発行
(書籍版のみ)
アクセス日：2008年12月10日
- [26] フェミニスト・ドットコム <http://www.feminist.com/>
a グローバル・リソース・ガイド、ギニア
<http://www.feminist.com/antiviolence/global.html#sub>
アクセス日：2008年12月4日
- [27] オールアフリカ・ドットコム、<http://allafrica.com/>
a 汚職により水道システムから漏水
<http://allafrica.com/stories/200805270987.html>
アクセス日：2008年11月27日
b 鉱業地帯でのエイズ感染、2008年11月28日
<http://allafrica.com/stories/200811280968.html>
アクセス日：2008年12月3日
c ドナーへの依存により HIV 拡大への注目度が低下、2008年11月27日
<http://allafrica.com/stories/200811270679.html>
アクセス日：2008年12月3日
- [28] 女性に対する暴力根絶 <http://endvaw.infoforhealth.org/>
<http://endvaw.infoforhealth.org/search.php>
a アフリカにおける女子割礼者数、USAID データ、2008年3月
http://endvaw.infoforhealth.org/search/search_results.php?start_num=0&query=%22Numbers+of+women+circumcised+in+Africa%22+&subquery
アクセス日：2008年12月1日
- [29] 国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)、<http://www.unhcr.org.uk/>
a 世界レポート 2008－ギニア、2007年の出来事
<http://www.unhcr.org/refworld/publisher,HRW,,GIN,47a87c04c,0.html>

アクセス日：2008年12月1日

[30] 外務国際貿易省

- a ギニア：渡航レポート、2009年1月14日
<http://www.voyage.gc.ca/dest/report-en.asp?country=114000>
アクセス日：2009年1月23日

[31] 英国国際開発省、<http://www.dfid.gov.uk/>

- a 国家プロフィール：ギニア、最終更新日：2007年4月19日
<http://www.dfid.gov.uk/countries/africa/guinea.asp>
アクセス日：2008年12月2日
- b 致死性熱帯病により5,000万ポンドの損失、2008年9月22日
<http://www.dfid.gov.uk/news/files//pressreleases/tropical-diseases.asp>
アクセス日：2008年12月2日

[32] 世界銀行、<http://web.worldbank.org>

- a ギニア概要
<http://web.worldbank.org/WBSITE/EXTERNAL/COUNTRIES/AFRICAEXT/GUINEAEXTN/0,,menuPK:351801~pagePK:141159~piPK:141110~theSitePK:351795,00.html>
アクセス日：2008年12月2日
- b 国家概要、最終更新日：2008年9月、
<http://web.worldbank.org/WBSITE/EXTERNAL/COUNTRIES/AFRICAEXT/GUINEAEXTN/0,,menuPK:351805~pagePK:141132~piPK:141107~theSitePK:351795,00.html>
アクセス日：2008年12月2日
- c 世界銀行、ギニアの教育部門に1,000万米ドルを追加出資、2008年10月30日
<http://web.worldbank.org/WBSITE/EXTERNAL/COUNTRIES/AFRICAEXT/GUINEAEXTN/0,,contentMDK:21959997~menuPK:351801~pagePK:2865066~piPK:2865079~theSitePK:351795,00.html>
アクセス日：2008年12月2日

[33] ビハインド・ザ・マスク、<http://www.mask.org.za/>

- a ギニア(日付なし)
<http://www.mask.org.za/index.php?page=guinea>
アクセス日：2008年12月3日

[34] ハンズ・オフ・ケイン、<http://www.handsoffcain.info/>

- a 死刑に関する国情、更新日：2008年10月8日
<http://www.handsoffcain.info/news/index.php?iddocumento=10318377>
アクセス日：2008年12月4日

[35] ピースコープ、<http://www.peacecorps.gov/>

- a ギニアにおける多様性と異文化問題、最新版
http://www.peacecorpswiki.org/Diversity_and_cross-cultural_issues_in_Guinea
アクセス日：2008年12月4日

[36] ピースウィメン・ドットオルグ、<http://www.peacewomen.org/>

- a 女性、平和、安全保障に関する安全保障理事会公開討論 - 2007年10月23日、ギニア

http://www.peacewomen.org/un/7thAnniversary/Open_Debate/Guinea_eng.pdf

アクセス日：2008年12月4日

[37] 国連人道問題調整部 (OCHA) <http://ochaonline.un.org/>

a ギニア

<http://ochaonline.un.org/Default.aspx?alias=ochaonline.un.org/guinea>

アクセス日：2008年12月4日

[38] 国際移住機構、(IOM)

a ギニア、実情と統計値、2007年7月

<http://www.iom.int/jahia/Jahia/pid/395>

アクセス日：2008年12月4日

[39] ロイターアラートネット、<http://www.alertnet.org/>

a ギニア、2008年12月3日

<http://www.alertnet.org/db/cp/guinea.htm>

アクセス日：2008年12月4日

b ギニアの騒乱、2008年1月22日

http://www.alertnet.org/db/crisisprofiles/GN_UNR.htm

アクセス日：2008年12月4日

[40] 世界食糧計画 (WFP)、<http://www.wfp.org/english/>

a 世界食糧計画 2007

http://www.wfp.org/policies/annual_reports/documents/2007_Ann_Rep_English.pdf

アクセス日：2008年12月4日

b 調達に関する最新情報、2009年1月21日

http://www.wfp.org/operations/current_operations/ResUpdates/104530.pdf

アクセス日：2009年1月23日

c WFP 運営要件：不足及び優先事項 2008、2008年10月

http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/op_reports/wfp110572.pdf

アクセス日：2008年12月4日

[41] 海外安全対策協議会、<https://www.osac.gov/>

a 国家プロフィール

<https://www.osac.gov/Regions/country.cfm?country=119>

アクセス日：2008年12月4日

b 2008年ギニア犯罪・安全報告、2008年4月29日

<https://www.osac.gov/Reports/report.cfm?contentID=83622>

アクセス日：2008年12月4日

c ギニア凶悪犯罪の増加、2008年11月26日

<https://www.osac.gov/Reports/report.cfm?contentID=93828>

アクセス日：2008年12月5日

d ギニアの騒乱により治安状態の不透明化が拡大、2008年11月10日

<https://www.osac.gov/Reports/report.cfm?contentID=93276>

アクセス日：2008年12月5日

[42] 国際労働組合総連合、<http://www.ituc-csi.org/>

a ギニアホームページ

<http://www.ituc-csi.org/spip.php?rubrique136>

- アクセス日：2008年12月4日
- b ギニア：苦闘する国に国際労働組合会議がもたらした希望、2007年5月23日
<http://www.ituc-csi.org/spip.php?article1155>
 アクセス日：2008年12月4日
- [43] アサイラム法、www.asylumlaw.org/
 a 性的少数者と法律：世界調査、更新日：2006年7月
<http://www.ai-lgbt.org/texts/lgbt2006.rtf>
 アクセス日：2008年12月10日
- [44] ジョシュアプロジェクト <http://www.joshuaproject.net/>
 a 一般国家データ、最終更新日：2008年10月22日
<http://www.joshuaproject.net/countries.php?rog3=GV>
 アクセス日：2008年12月4日
- [45] セーブ・ザ・チルドレン：<http://www.savethechildren.org/>
 a ギニア最新情報、2008年3月19日
<http://www.savethechildren.org/countries/africa/guinea.html>
 アクセス日：2008年12月4日
- [46] 国境なき医師団、<http://www.msf.org/>
 a ギニア刑務所の劣悪な環境による民間受刑者の栄養失調・結核感染
<http://www.msf.org/msfinternational/countries/africa/guinea/index.cfm>
 アクセス日：2008年12月4日
- [47] 安全保障研究所、<http://www.iss.co.za>
 a 国家ファイルーギニア、最新版
http://www.issafrica.org/index.php?link_id=14&slink_id=3924&link_type=12&slink_type=12&tmpl_id=3
 アクセス日：2008年12月4日
- [48] 国連開発プログラム、<http://www.undp.org.rw/>
 a 年次報告書 2008、ギニア
http://www.undp.org/publications/annualreport2008/pdf/IAR2008_ENG_low.pdf
 アクセス日：2008年12月5日
- [49] ペンシルバニア大学、アフリカ研究センター、<http://www.africa.upenn.edu/>
 a ギニアのページ(日付なし)
http://www.africa.upenn.edu/Country_Specific/Guinea.html
 アクセス日：2008年12月5日
- [50] ザ・ガーディアン、<http://www.guardian.co.uk/>
 a ランサナ・コンテ大統領死去後のギニアのクーデター、2008年12月23日
<http://www.guardian.co.uk/world/2008/dec/23/guinea-dictator-lansana-conte-dies>
 アクセス日：2008年12月23日

- [51] **GTZ** <http://www.gtz.de/de/index.htm>
- a グッドガバナンスおよび女性器切除
<http://www.gtz.de/de/dokumente/gtz-en-good-governance-fgm-2007.pdf>
アクセス日 : 2008 年 12 月 8 日
 - b ギニアの女性器切除
<http://www.gtz.de/de/dokumente/en-fgm-countries-guinea.pdf>
アクセス日 : 2008 年 12 月 8 日
- [52] 国際通貨基金 (IMF)、<http://www.imf.org>
- a ギニア : 国家報告書、2008 年 8 月
<http://www.imf.org/external/pubs/ft/scr/2008/cr08275.pdf>
アクセス日 : 2008 年 12 月 10 日